



2023~2024年度
国際ロータリーテーマ



UEDA EAST

上田東ロータリークラブ

第2600地区 東信第2グループ 創立1978.6.14

世界に希望を生み出そう

WEEKLY REPORT

JUNE.5.2024 第2105回

会長/上原 達 幹事/松山賢太郎 会報委員長/玉井権太郎

例会：毎週水曜日 午後12:30 ~1:30

会場：上田東急REIホテル

事務局：上田市天神4-24-1 上田東急REIホテル 3F
TEL 0268-21-3500 FAX 0268-21-3501

URL: <http://www6.ueda.ne.jp/~uedaeast-rc/>
E-mail: uedaeast-rc@po6.ueda.ne.jp

映画館が子どもたちの居場所になるということ



うえだ子どもシネマクラブ代表 直井 恵様

「学校に行きたくない日は映画館へ！」

をコンセプトに、子どもたちの新たな居場所として映画館を活用する「うえだ子どもシネマクラブ」。日頃「学校に行きづらい」をキーワードに集まる子ども

たちと接するたび、魅力あふれる個性に次々と出会います。「魚の話をするとうまらないます」「椅子に座るより、床の上の方が落ち着く」「読書を途中で止められる(15分読書)のがダメでした。あれは読書とは言わない」…等々。きっと集団の中では目立ってしまうでしょうし、彼らの個性に対する社会からの反論は多いに想像できます。でもこんな立派な個性と意思を持つ子ども達を、ただただ平たくしていく事が「良し」とされる日本の常識(教育)は果たして「正しい」ことなのか…。自問する日々でした。

この国の子ども若者の死亡理由の第一位が自死という現実がなかなか変わりません。必死で泳ぎ続けている子どもたちが「苦しい、どうにかして」と悲鳴をあげているのに、変わる気配がない。そんな中、社会システムからずっと気軽に「避難」できるように「安心してここにいていいよ」と言える場として、私たちは上田映劇に子どもや若者たちの居場所を作りました。

学びの場としての映画館

休館日の月曜日に月2回開催する上映会は、こどもだけでなく、保護者も先生たちも参加可能です。毎月4作品を興行上映の中からセレクトし、上映会の情報をメールやSNSで発信したりSSWや市町村の教育委員会を通じて各学校の不登校を担当する先生宛にチラシを送付して周知しています。始める当初から、映画は学びにつながる素晴らしい媒体だという確信があったので、各市町村の教育委員会をまわりながら、映画と学びの相性の良さを先生たちにお伝えしていきました。(中略)

映画館は特に誰かと話しをしなくても過ごせる独特な場です。「個」を保ちつつ、スクリーンと対峙しながら、劇場という公の場で他者と物語を共有する。外に出るのが苦手なお子さんが「この映画が観たい！」と映画館に

足を運んだり、先生と映画館で初対面を果たした、という事象が何度か起きたり。子どもたちが行ってみたいと思える場としてのあり方や可能性について、こちら側が学ぶことばかりでした。



何もしなくてもいれる映画館

次第に「上映会以外の日にいる場所がなくて困る！」という声がちらほら聞こえはじめたことから、平日の映画館がオープンしている時間にも子ども達を受け入れることも始めました。幸い映画館にはやる事がたくさんあったので、館内のポスターの貼り替え作業やチラシの整理や掃除などを中心に手伝ってもらったりしますが、作業があまりない日などはおしゃべりして過ごしています。すると、彼らからいろんな「本音」が出てくるようになりました。学校の先生との関わりや、家の話など。中でも特に「昼間、いる場所がない」という事について、話題がよく上がりました。「何もしないでうちでダラダラ過ごす」事に後ろめたさを感じる子が多く、それは働いていない若者たちも一緒でした。子ども達は学校に入学すると同時に進学、就職等々、常に目的を持つように教えられる機会が非常に多く、でも目的そのものがプレッシャーになったり、生きることに困難を感じるほどの圧力になってしまっていると彼らは言います。社会全体が慌ただしく過ぎ去るなかで「何もしなくても、その日1日が心満たされて安心のうちに終わる」という時間と場所の確保はとても大切です。エネルギーを溜めたり、自分を見つめる時間として平日の映画館にみんながいられると良いと思うようになってきました。

「嫌なことを忘れて楽しめる場所。」

「映画で心が癒される。」

「映画館に行くこと応援してくれる人がいっぱいいるから嬉しい。」

このシンプルな言葉が表すように、子どもたちが日常の嫌なことを忘れて、ワクワク楽しい時間と場に出会えることを日頃イメージしながら場を開いています。まずは映画館に「避難」して、充電できる時間をみんなで支えることができたらと思っています。

映画では人生に迷ったり、時には道を間違えて逆戻りしているような主人公がたくさん登場します。学校や社会に違和感を覚えるのは当たり前の事だよと、映画の主人公たちが代弁してくれているようです。子ども達から出てくるあらゆる「本音」は、そのまま映画のストーリーと重なり、社会に訴えかける説得力となっていきます。

映画館を開いた事により、学校に行けなかった子ども達がバスや電車に乗って外に出る事ができたり、知らない人

と話をしたり、誰かと友達になる機会を作る事が少しずつできるようになってきました。今では学校の出席認定にもつながるようになり、これからますます子ども達がそのまの個性で過ごせる場所が必要となってくると思います。そうした時に映画館をはじめ、あらゆる芸術文化に関連する劇場や美術館や図書館などがその役割を果たせるのではないかと希望を抱いていて、私達も映画館以外の場も開拓していきたいという思いでいます。

例会日誌 6月5日(水) 晴れ 2023～2024 No.36

- 司会 柳澤 誠君
- 斉唱 「君が代」「それでこそロータリー」
- ゲスト 直井 恵様(うえだ子どもシネマクラブ代表)
趙 天澗君(米山奨学生)
- ラッキー賞 宮坂正晴君(季節のアレンジ花)
- 友愛賞 佐藤友則君(西入君よりシンガポール国際大会のお土産)
手塚多佳彦君、竹内 強君

(滝澤君より松山のお土産)

滝澤「長女の夫の実家が松山で、お義父さんにゴルフに誘われており、行って来ました。女子プロの大会も開催される名門コースでした。」

小林正人君(山本君よりお菓子)

渡辺敏成君(蓑輪君より新潟県立海洋高校のお菓子)
蓑輪「先場所優勝した大の里関は同校出身です。」

柳澤 亨君(母袋創一君より柳町屋のお菓子)

■会長挨拶

上原 達 会長

早くに希望を生み出す



皆さんも様々な会・団体に所属され、色々な役職をされていることと思いますが、私も保険代理店経営の他に地域社会貢献の一環で、上田裁判所で調停委員をしております。令和3年4月から家事調停委員、令和4年1月から司法委員、同年4月から民事調停委員を最高裁判所より拝命しています。

調停委員は、豊富な知識や経験を持つ人格識見の高い一般市民の中から選ばれ、裁判官と共に調停委員会の構成員として調停手续に携わります。民事、家事に関する様々な紛争が扱われる調停手续において、調停委員は、紛争の実情に応じた適切な解決案を示して、当事者双方の話し合いによる円満な解決が図られるよう斡旋します。

司法委員は、簡易裁判所の民事事件について、裁判官が和解を勧めるときに裁判官の補佐をして審理に立ち会って裁判所の立場で解決する職務となっています。

家事調停委員は2人で、一人は女性、一人は男性となることが通常です。民事の場合は男性2人のこともあります。調停委員は、調停に一般市民の良識を反映させるため、社会生活上の豊富な知識経験や専門的な知識を持つ人や、地域社会に密着して幅広く活動してきた人など、社会の各分野から選ばれています。(中略)

上田調停協会は現在48名の調停委員が在籍しており、

事件を順番で担当します。私の場合、20件の調停と1件の司法委員をいままで担当してきました。

通常は、裁判所の調停室で対面で行いますが、遠隔地の場合などは弁護士さんの事務所と電話でつないで行うこともあります。顔が見えないのでかなり気を使いながらの調停となります。これからは、WEBでの調停を上田裁判所でも実施できるよう準備をしているようです。個別事案については当然お話しできませんが、身近なところで多くのトラブルを抱えていることを実感しました。

■出席報告

| | 正会員数 | ベース | 欠席 | メイク | 出席率 |
|-----|------|-----|----|-----|--------|
| 本日 | 52 | 47 | 12 | — | 74.47% |
| 前々回 | 52 | 48 | 20 | 16 | 89.58% |

ニコニコBOX

(敬称略)

飯島(洋)、上原、遠藤、工藤、倉島、後藤、小林、塩之入、関滝澤、竹内、竹花、田守、塚田、手塚(多)、中嶋、西入浜野、松山、丸山、水出、蓑輪、宮坂、宮澤、母袋(創)母袋(卓)、柳澤亨、山寺、山本、渡辺

※母袋創一君/直井さんようこそ。宜しく申し上げます。

※竹内 強君/喜寿で～す!直井さん、ようこそ。

※飯島洋一君/ローターアクト地区大会、多勢のご参加有難うございました。感謝でございます。

本日の金額/46,000円 累計/1,324,000円

●地区ローターアクト年次大会開催 (6月1日・土)

上田東急REIホテルをメイン会場とし、活動報告は原崇人地区代表が運転する別所線を貸切運行して行いました。ガバナー始め、来賓の皆様他、地区からも大勢のアクターが集まり、皆、懸命にホストを務めていました。



[次週のプログラム]

6月19日(水) クラブフォーラム ～一年を振り返る～